



特定非営利活動法人 (NPO法人)

日本セラプレイ協会

Japan Theraplay Alliance The Theraplay® Institute 国際本部公認

2014年 Autumn/Winter
祝NPO法人設立記念版 第2号

ごあいさつ

高井 美和

皆様方におかれましてはお元気でご活躍のことと存じます。2014年4月に協会を発足後、去る7月25日に正式に特定非営利活動法人 (NPO法人) 日本セラプレイ協会として登記完了致しました事をご報告いたします。ニュースレター第2号でこのように皆様にご報告できますことを大変嬉しく思っております。今後ともNPO法人としてより一層活動を広げて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

「セラプレイを学ぶという事」

セラプレイは、子どもを取り巻く環境を多角的に考慮し、子どもから発信される小さなサインを読み取っていきます。その多角的な情報を、セラピストは「私」を介して理解しようと努め、同調・反応・共鳴などの様々な反応をしていきます。今まで子どもが築いてきたIWM (内的作業モデル) を理解し、今までは違う関わりの体験を提供し、子ども自身が自分を新しく肯定的に捉えられるように促していきます。自分らしくいられる様に、子どもの居場所で関係を築けるように支えます。

セラプレイは、子どものやりたいようにさせ、赤ちゃん扱いすることなののでしょうか？セラプレイの遊びをしていれば問題行動がなくなるのでしょうか？遊びを習えばだれでもできるのでしょうか？

私たちは日常生活の中で、相手の感情の状態や、意思を知るため、または情報を伝達するために体を総括的に使ってコミュニケーションを取ります。言葉は情報の伝達をするために重要ですが、言語以外に表情・視線・身振り・姿勢・空間の使用・身体接触・イントネーション…などの多様な方法で意識的にも無意識的にも知らず知らずのうちにサインを送っています。Mehrabian(1968)は、言語は全体のメッセージの7%にすぎないと述べています。

やりとり (相互作用) を重視しているセラプレイでは、言葉以外のメッセージに注目し多様な疎通をしていきます。セラプレイのセラピストは、子どもの体を通して発せられるメッセージに対し、反応・受容し、理解しようとしています。敏感な反応や気付きは訓練を通して身につけていきます。しかし、体からのメッセージと言葉は、言葉の意味そのものでない事もあります。それを理解しようと何度もビデオを見返し、見落としてしまった子どもの言葉の破片を探します。その破片は見えない事もあります。セッションの部屋にはないかもしれません。一番子どもが一番身近にいる大人が鍵を握っているかもしれないし、学校や友達など外の世界にあるかもしれません。もしも、セラピスト自身が子どもの言動の原因を生み出していることもあり得ます。色々な可能性を冷静に判断する事がセラプレイを提供する大人として非常に大切な要素となるのです。それに気づいていくこと、適切な対処を誠実にやっていく事がセラプレイを学ぶ事なのだと思います。

セラプレイのセラピストは、保護者との関わりを常に大切にしながら全体を見つめ「見立て」をします。その見立てには、理論・発達・経験・スーパーバージョンなどの学びが必要でしょう。そして保護者と共に目標を話し合い決定します。その過程でもう一つ必要なのは「私自身」を見つめることに向かう事が出来るかどうかです。セラプレイのセラピストである限り、ずっと続いていく課題でもあり、終わらない宿題なのだと思います。

しかし、セラプレイにより子どもと共にした一瞬を経験した者は、セラプレイに魅了されるのだとも思います。



「学ぶ」事が楽しくなるまでは少々時間がかかるかもしれませんが。日本セラプレイ協会は、学びが楽しくなるような機会をできる限り提供し、日本の子どもと家族を愛する皆様のあたたかい手で「セラプレイ」が大切に育てて頂けるような環境を提供すべく活動をして参ります。

日本セラプレイ協会 発足会 報告



4月の発足会は、今までセラプレイを実施したり、講義をさせて頂いた施設や病院の先生を始め、応援して下さい下さっている方からのお花や、お祝いのメッセージに囲まれながら、セラプレイを大切に思ってください方、またセラプレイに興味を持って下さる方が参加して下さいました。学校関係・社会福祉関係・心理・教育など色々な分野の方が、日本中からお集まり下さり日本国内でのつながりを感じる発足会となりました。

午後には、集まって下さった方との交流の一環として心理、福祉、教育の3つのグループに分かれ、それぞれ2つの事例をもとにディスカッションを行いました。話し合いの中では、子どもだけでなくケース全体を幅広く見ていく必要性、発達障がいと呼ばれる子どもたち・大人たちに同じ「発達障がい」という診断名で、不用意に立ち入り、セラピスト自身が揺さぶられること、逆転移が起こり一人でする事も出来なくなってしまう支援者側の危険性の話など、どの立ち位置でどのように関わる事が望ましいのか、危険性を知っている事が大切であると話あいました。また、現場の先生からの声として、施設での生活を送っている子ども、そして預けなければならない母親のさまざまな問題を理解し、その戸惑いや苦悩を共感的に受け止めることの大切さを話し合いました。教育グループでは、保育士として家族と関わる時に、親子の関係性の課題が感じられることはあるが、気付いても教育の現場で何が出来るのか、また自分自身の立場で何が出来るのかという葛藤が生じることが多いという意見があり「ちょっと気になる子」に対して、楽しいセラプレイは期待できる改善の機会になるのではとの意見が聞かれました。

異なる領域で親子に関わっていても、子どもと家族に対するより善い関係性を望む思いは同じです。関わる大人として、各自の考えだけで動くのではなく、他領域との繋がりをもち、家族をより広い視野で協力しあって見守ることが出来る環境を作ることがいかに大切であるか、そのためにはセラプレイ協会としてこのような集まりを継続させていくことの重要性を感じました。今後はそれを団体として形にしていく歩みを始める事が私たちの使命であると思っております。応援して下さい下さる方の期待に少しでも応えられる様、責任の重大さを感じながら結果を出していく事の必要性を改めて感じた一日となりました。

初級講座



2014年5月3-6日、日本セラプレイ協会主催で初めて全編日本語での初級講座を当協会が主催しました。岩手県からの参加も含め全9名の参加でした。

後日、初級講義及び7月・8月に開催した初の試みであるフォローアップ講習に参加された先生からの感想が届いていますのでご紹介致します。

【初級講座履修後（5月）】

『方法論だけでなく、理論や人間観もしっかりしていて、しかも、実績があることが分かりました。また、実践から始まったものに理論による裏付けが加えられたという歴史のためか、固すぎずすぐに使ってみたくなるようなアイデアが多く、よくある「言っていることは分かるけど、実際にやるのは現実的ではちょっと難しい」話とは違って興味深いです。』

【フォローアップ講習会参加後（8月）】

「講座のお話を聞いていると、私ももっとセラプレイを勉強したいと思うものの、現場に出ると最初からうまくできる筈もなく、プレッシャーもあり自分が不安定になってしまうのですが、講義の中で高井先生が「揺さぶられることがいっぱい起こる。揺さぶられることは大事な事。揺さぶられていることに気づいてその場にいられることがもっと大事」というお話を下さり、セッションに限らず、セラプレイを学んでいくこと自体がそういうことなのかなと思いました。揺れている自分を認めつつ、でも極度に揺さぶられすぎないように、自分自身をコントロールしながら学んでいければと思います。」

最後にこの場をお借りして場所を提供して下さいました IVY CHILDRENS ROOMの先生、ご協力ありがとうございます。

第2回 セラプレイ

アジアカンファレンス

～発表紹介～

亜州大学病院 チョソンミ医師：「感情と脳、体の変化」

フィンランド **Hanna Lampi先生**：

“Making Connections-Physicality as a tool in Theraplay”

シカゴ ロヨラ大講師 **Hong Rana先生**：

「臨床家の経験をもとにしたセラプレイの効果調査：

里親課程及び養子とその養護を中心に…」

ソウル大学 チョヨンファン教授：

「Merleau-pontyの身体の現象学から見たセラプレイ」

韓国会長 **ユンミウォン先生**：「相互身体的経験と変化する体」

日本会長**高井美和**：「からだ語る、私も知らない私の気持ち」

香港代表**Angela Siu先生**：“Mindfulness and Theraplay”

☆フィンランド・シカゴ・韓国・香港・日本の発表者は

全員セラプレイ国際認定トレーナーです。



2014年7月25日-26日に、韓国ソウルにて 第2回 セラプレイアジア会議が行われました。今年は「からだセラプレイ」というテーマで、様々な先生の講義を受ける事が出来ました。

日本からの今年の参加は、協合理事の川上、小出、榎原、が参加し、現地の通訳のお手伝いをして下さる方と食事に行くなど国際会議は勿論ですが、韓国ならではの食べ物や文化に触れ有意義な時間を過ごすことが出来ました。

参加後記… 榎原久直

「心と心の繋がりでなく、その基盤として子どもと親、そしてセラピストの身体が互いに響きあっていることを事例や研究という形で学ぶ貴重な時間でした。また深いレベルでのやりとりの中で、セラピストが自身の心と身体の動きに目を向け大切に扱っていくことがいかに大切で、いかに難しいかについて国や文化を越えて、改めて考え合う実りのある場でした。」

次回は**2017年の開催**ですので、皆さんも一緒に行きましょう。」

写真：川上/榎原/韓国セラプレイ協会会長/高井/小出



セラプレイとは…

愛着（アタッチメント）、自尊心（セルフ エスティーム）、他者への信頼を高め、喜びに満ちた関わりを促進し、向上させるために考案された子どもと家族のための心理療法・遊戯療法（プレイセラピー）の一つです。それは親子間の自然なやりとりにみられる、健やかで遊び心あふれる相互作用を基本にしており、身体的でまた直接的な関わりのある楽しいものです。

セラプレイにおける、相互作用は乳幼児期の親子で自然に育まれる、楽しく健康な親子のやりとりから抽出された4つの柱、構造（Structure）関わり（Engagement）養育（Nurture）挑戦

（Challenge）に焦点を当てています。セラプレイのセッションでは、子どもと親、あるいは養育者との活動的で情緒的なつながりを心地よく深める事を目標に行われます。その結果、子どもは自分自身がかけがえのない愛されるべき存在だという事に気づき、さらには他者とも豊かな関係を築いていこうとする考え方が芽生えてくるのです。

（セラプレイの）セッションでは、セラプレイセラピストのガイドのもとで、親と子がわくわくするような楽しい遊び、その子どもの発達に即した挑戦、そして優しく慈しみあふれるアクティビティを行います。このような互いに関わりあう相互関係性の促進を通し、親が子どもの言動を適切に制御（Regulation）しつつ、愛情、楽しさ、安全性を子どもに伝える事が出来ます。それにより、子どもは安心して（feel secure）繋がりの中で自分自身に価値を感じながら、（他者・世界）と繋がることへの価値をも見出していきます。私たちはこれを「関係性を内界から外界へ築きあげる」

building relationships from the inside out～と呼んでいます。



訓練生登録について

日本セラプレイ協会は、日本の子どもの精神的健康と家族の関係性を円滑にするお手伝いをさせて頂くためセラプレイ国際本部認定のセラプレイセラピストの育成と質の向上を目指す団体であり、セラプレイを通したたくさんの学びと経験を積む機会を提供し、大人と子どものより良い関係形成を援助することを目的としています。

アメリカで生まれたセラプレイは、1987年に日本語に訳されセラプレイ第1版が監訳 海塚敏郎先生により出版されました。あとがきには「訓練生にとって、ビデオテープによるスーパービジョンは有用なものとして活用されている。こうしたセラプレイ治療者養成課程で感じられるのは、人間関係のあり方の文化的差異である。つまり、わが国でアメリカでの治療実践をそのまま移入すると違和感の生じる恐れがある。当然我が国のセラプレイで使用される活動は、実践の中で整備されていかなければならない。以降省略」と記されています。

初めて日本でセラプレイに関する講習を行ったのは、2008年にさかのぼります。その後、国際本部認定トレーナーによる初級講座はほぼ毎年行われ、2010年からは国内での臨床実践、講座が活発化し、スーパービジョンを受ける方も少しずつ増えて行きました。しかし、日本とアメリカの福祉・教育及び文化の違いや制度・習慣、また家族を取り巻く環境の違いがセッションの中で、またケースの構造自体に難しさとして露呈する事がしばしばありました。その都度セラプレイの共同開発者であるPhyllis B. Booth 先生、Sandra先生、Dafna先生を始め、フィンランド、韓国のトレーナーと話し合いを繰り返しています。フィンランドは、精神科医の協会理事らとセラプレイトレーナー達が、独自の規定を臨床とスーパービジョンを繰り返し国際本部との合意の上、国内規定を制定しています。国際本部の規定のまま他国で実施すること、及び資格を授与する事は難しいのが現状です。その上スーパービジョンを受ける習慣が他国ほど一般的でない日本では、初級講座履修後、クライアントにセラプレイを実施し、スーパービジョンを受けずに継続してしまい行き詰まってしまった方が多かったと思います。せっかく、4日間または5日間の初級講座を受講したのにそこで終わってしまっている方が多い事が非常に残念な事です。

資格取得目的だけでなく、安心してセラプレイを学び、セラプレイ的遊びを行っていただけるように日本セラプレイ協会では、日本の状況に見合った資格取得の手引きを皆様のお手元にお届けできるよう作業をしております。(以下図参照) 現在手引き作成の為に理事及び顧問と討議を重ねております。初級講座後のセラプレイ訓練を始める為のサポートシステムとして、【ステップアップ講習(全3回)】を実施しました。早速現場で実施する事が出来るよう、実践練習講習です。今年の5月の初級履修者はステップアップに参加し、励まし合いながら進んでおります。基本的な練習を皆で実際に集中して行う事で、結果的にスーパービジョンの初期段階の時間が短縮し、より安心してセラプレイを始める事が出来るようにサポートしています。これからも、協会としてセラプレイの講座、研修を受けられた皆様が今後継続してセラプレイを効果的に使用していただけるよう、システム作りを力を注いで参りますので、ご理解ご協力そして積極的なご参加及びご意見をお願いいたします。

<2014年セラプレイ国際本部規定に基づく>

資格の種類	条件	資格取得後	領域 仕事
セラプレイセラピスト	心理学者・臨床心理士・心理療法に関する修士学位以上保持者。	セラプレイセラピストとして、セラプレイの全工程を責任もって行う事が出来る。資格維持の為、年に一度の全体セミナーでの発表や、SV発表、国際会議参加など、年間に必要な点数を維持する事。	
セラプレイアソシエイツ	学士以上であり、心理士・福祉士・相談員として子どもと家族に携わり経験を有する者。	独立してセラプレイを行う事はできない。職場の許可を得て、実践同意書を協会に提出の上、行う事が出来る。臨床に関するスーパーバイザーを持つ事。資格取得後も、セラプレイのSVを定期的に受ける事。	
セラプレイスペシャリスト	言語療法士 作業療法士 音楽療法士 幼稚園教諭及び・教師。	セラプレイをセラピーとして行う事はできない。それぞれの専門職の中で活動を使用する事はできる。MIMを単独で行ったり、Feed Backを行う事はできない。	



セラプレイの資格は、200セッション以上の訓練をし、スーパービジョン指導を受け、国内・国際試験を通過し国際本部より授与されるものです。「セラプレイとは何か」の導入の研修後、初級講座を受講していただきますと、そこで資格について詳しくお話致します。皆さんの領域で、質の高いセラプレイを有効に使うように応援致します。皆様も協会の仲間と一緒に学びませんか？



協会 紹介 (2014年8月 現在)

代表： 高井 美和
セラプレイ国際本部認定
セラプレイ セラピスト/スーパーバイザー/ トレーナー
聖心女子大学卒
淑明女子大学 大学院 児童心理療法専攻 博士課程終了
現国際本部認定セラプレイカウンセリングセンター東京所長

顧問：岩井幸祐 (臨床心理士 栃木県北児童相談所)
川畑友二 (児童精神科医 クリニック川畑院長)
原國優子 (健康科学大学 准教授
日本感覚統合療法学会セラピスト インストラクター)
廣岡逸樹 (臨床心理士
子どもの村福岡子ども家庭談室長)

理事：川上真樹 (プレイセラピー セラピスト/ RPTS
スーパーバイザー)
榎原久直 (臨床心理士 大阪大学大学院 日本学術振
興会特別 研究員)

西田智子 (カリフォルニア州立大学大学院卒
セラプレイ訓練生 レベル1)

小出真起子 (Saint Mary-of-the Woods Collage卒
幼稚園教諭/保育士)

委員：久保千晶 (臨床心理士 精神保健福祉士
こどもメンタルクリニック芝)

土井信子 (音楽療法士
NPO法人昭島ひよこ教室理事長)

藤井絹枝 (音楽療法士 臨床発達心理士
セラプレイ訓練生 レベル1)

星野真由美 (臨床心理士 育英短期大学准教授
セラプレイ訓練生 レベル1)

松岡展世 (臨床心理士 作新学院大学)

監事：渡辺紘子 (聖心女子大学卒)
事務 協力：山崎香絵 大野佳代 内田悦子
国際本部：The Theraplay® Institute
アジア本部：Korea Theraplay® Alliance

会員現況 2014年8月 現在 (順不同・敬称略)

正 会 員	高井美和 川上真樹 星野真由美 高井晴子 安藤徳彰	榎原久直 久保千晶 井上みさ越 岩井幸祐	土井信子 西田智子 山内美穂 小出真起子	藤井絹枝 廣岡逸樹 田場隆介 松岡展代
一 般	久保親哉 佐々木美香 古積悦子	田村弥生子 山田敬子	加納真理 佐々木智城	平野直己 中村由佳
賛 助	白鳥玲子 チェ ユンソ	大野佳代 内田悦子	山崎香絵 塚田展久	高井美智子
寄 付	(株) 東部ブックス (株) グローバルネットワークス NPO法人ひよこ教室 小枝会 (個人) 北尾可代子 ジ ユンギョン			
ご 支 援 ご 協 力 団 体	The Theraplay @Institute セラプレイ国際本部/ 韓国 セラプレイ協会/ Youn's Theraplay Counseling center /セラプレイカウンセリングセン ター東京/ 緑の森 子どもクリニック/NPO 法人 昭島ひよこ教室 / させばあそびたい/さくら心理相 談室/医療法人社団青山会/社会福祉法人 むぎの子会 /むぎのこ発達クリニック/社会福祉法人 慈生会 ナ ザレットの家/旭ヶ丘幼稚園/認定子ども園 潮来幼稚 園 潮来ひかり保育園/小枝会/NPO法人子育て支援セ ンターしらさぎキッズ/ICE/SOS子どもの村福岡/児童 養護施設 恵明学園児童部 / IVY Children's room / Dokkebi Korea 他			
あ り が と う ご ざ い ま す。	Special Thanks 北川聡子 / 園部 友良 / 山森紀美子 石岡千寛 / 川村聡子 / 大隈由美子 / 松平千佳 / 心療内科 クリニック川畑 クルーズ行政書士事務所 (株) 鎌田工務店 (株) ライフトラスト 塚田展久税理士事務所 遠見書房 / 創元社 他			

(順不同・敬称略)

—会員募集— ご支援をお願いいたします。

日本セラプレイ協会は、活動の理念と目的をご理解の上、
ご賛同頂ける多くの会員を募り、ご協力をお願いしておりま
す。日本セラプレイ協会設立、および今後の活動に対するご
支援をお願い申し上げます。

会員登録していただく方法や、寄付金という形でのご支援の
方法もございます。会員をご希望の方は詳細をホームページ
をご覧ください。

年会費 (当該年度7月～翌6月有効)

本年度のみ4月～翌6月有効)

正会員 20,000円 (参加・協力をして下さる方)
一般会員 5,000円 (当協会に賛同して下さる方)
賛助会員 3,000円 (当協会に賛助する方)

「日本セラプレイ協会」

【ゆうちょ銀行で送金の場合】

ゆうちょ銀行 記号: 10180

番号: 95284891

【他銀行よりお振込みの場合】

ゆうちょ銀行 店名:018

口座番号:9528489

なお法人設立後の平成26年度年会費のご送金方法についま
しては改めてご案内申し上げます。

★ご入金後、必ず協会へご連絡下さい。

今後の日本セラプレイ協会の目標事業

- 1) 乳児院でのセラプレイ
- 2) 幼稚園のお友達とお父さんとのセラプレイ
- 3) 友達と上手に付き合うためのグループセラプレイ
- 4) 日曜日野外での親子遊び セラプレイ
などたくさん企画をして参ります!

セラプレイカウンセリングセンター東京 @ 下北沢

2年半過ぎた吉祥寺の町を離れ、下北沢駅 西口より
徒歩 1分の場所にセラプレイカウンセリングセンター東京
が引っ越しました。日本セラプレイ協会の事務局でもあるセ
ンターです。

「セラプレイがこんなところに来てほしいな!」や「私のと
ころでセラプレイは使えるかな?」「保護者会で話してほ
しい!」など 可能な限りお応えして参りますので
お気軽にお問合せ下さい。



NPO法人 日本セラプレイ協会

セラプレイカウンセリングセンター東京気付

代表 高井 美和

住所：〒155-0033 東京都世田谷区代田6-1-2 3 ル・シエル100 協会 E-mail: info@theraplay.or.jp

TEL/FAX: 03-3485-0767 HP: www.theraplay.or.jp

センターE-mail: info@theraplay.jp